

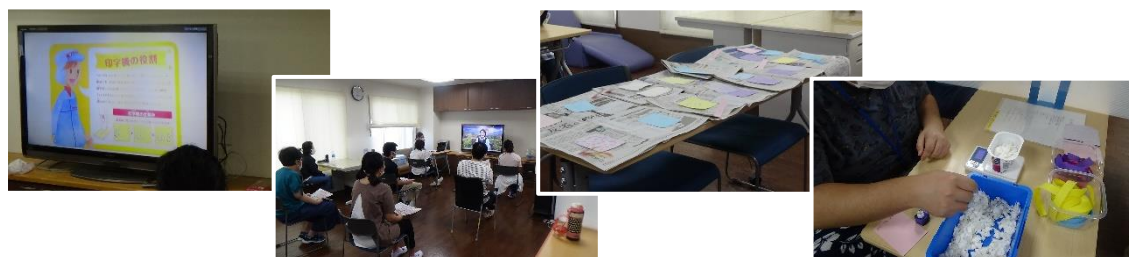
## あいのわしごとセンター 就労移行支援

あいのわしごとセンターでは毎年工場見学を行っていましたが、今年はしごとセンター内で「リモート工場見学」をしました。見学先は、①JAL、②麒麟ビバレッジ（午後の紅茶）、③ヤマザキパンです。

コロナ禍で、企業も工夫を凝らした「リモート社会科見学」を実施しており、普段見学出来ないところを見る事が出来ました。またパソコンの動画をテレビに繋げることで迫力も増していました。

午後は、訓練で使っている紙漉きの材料を使ってハガキづくりを行いました。日ごろの訓練で、とても細かくちぎっていることでハガキも綺麗に仕上がりました。皆さんの個性あふれるハガキ作りは、笑顔があふれ楽しい時間を過ごすことが出来ました。

（記：大津）



## 就労定着支援

緊急事態宣言が解除され、徐々に会社訪問や面談を以前のように実施出来てきています。久しぶりにお会い出来た就労者の方の顔を見てホッとすることもありました。また、私個人として新たに就労定着支援を利用する2名の方を担当させていただくこととなりました。新しい環境に身を投じることは大きな不安があると思います。より一層気を引き締め、利用者の方が安心して働ける環境を作れるよう、精一杯支援をさせていただきたいと考えています。

（記：會田）



## ご報告とお知らせ

〈神明福祉作業所 冬季休業について〉	〈学生実習受け入れ状況〉	〈研修報告〉
12月29日（水）～1月4日（火） は冬季休業となります。	7月21日～9月6日 1名	8月27日 「シェイクアウト訓練」
1月5日（水）から通常通所となります。	7月26日～8月6日 1名	9月21日 「感染症：食中毒研修」
	9月1日～9月30日 1名	9月24日 「KYT 研修」
	9月13日～9月29日 2名	9月27日 「水害訓練」
	10月1日～10月6日 1名	10月27日 「接遇マナー研修」
	10月1日～10月18日 1名	10月28日 「全体避難訓練」
	10月4日～10月19日 1名	11月11日 「感染症：嘔吐物処理 研修」
	10月25日～11月10日 2名	以上の研修に福祉作業所の職員が 参加しています。
	11月15日～11月22日 2名	

来年も元気に会いましょう



# かがやき

社会福祉法人あいの福祉会  
Social Welfare Juridical AINOWA Organization



発行元：神明障がい福祉施設  
神明福祉作業所  
広報担当（大津・野口・加藤・鈴木）  
住 所：神明南 2-6-18 TEL：03-5682-5370  
発行責任者：照井 智幸  
発行部：第2号  
発行日：令和3年12月17日

## ～施設長から～

平素より皆様には、神明福祉作業所の運営にご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

## ～いちにち一日大切に～

その時、その時間に戻ることができないからこそ今日という一日を忘れられないくらいの充実した時間にしていきたい、そんな思いの中で各職員は利用者の皆様と共に活動をしています。これは、我々が掲げている事業所理念です。

さて、本年度もコロナ禍の影響により、日本中が外出自粛などの制約を抱えながら、我々が今できる活動を考えサービス提供を実施して参りました。9月30日には緊急事態宣言とまん延防止も解除され、少しずつ世の中は緩和に向けて動き出しているという喜ばしい反面、第六波に備えた準備や心構えも必要になります。11月には保護者連絡会を久しぶりの対面で実施させていただきましたが、リモートでの活動が多かった私には、人と対面するという何気ない事が、私にとってはとても新鮮で感慨深い気持ちとなりました。ITという時代の流れもありますが、相手の細かな表情や感情の変化をリアルに感じる事ができ、忘れかけていた人間味を大袈裟かもしれませんが感じる事ができました。令和4年は、人の温かい心を感じ、そして多くの人々の笑い声が多く聞こえる、そんな明るい地域社会になればいいなと思っています。引き続きご支援ご厚情を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

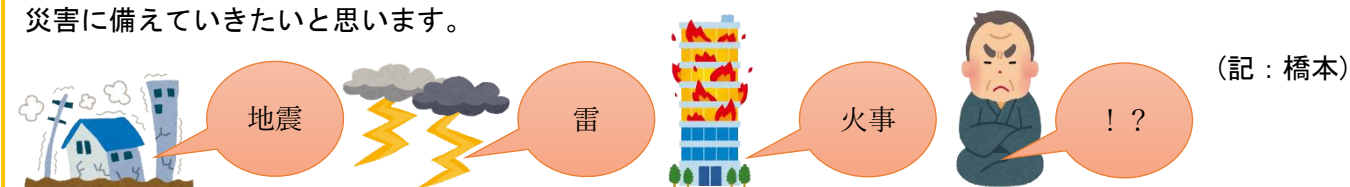
（記：照井）

## 避難訓練

10月28日に施設全体で避難訓練を行いました。今回は大きな地震が起き、その後施設内で火災が発生した想定で訓練を実施しました。

同様の訓練を今年度の初めにも行っており、前回より利用者も職員も落ち着いてスムーズに行動出来たと思います。一方、今回の訓練で今まで見つからなかった課題も出てきました。

最近、日本各地で地震が多く発生しており、これからも訓練を重ねながら、課題を一つ一つクリアし、災害に備えていきたいと思っています。



（記：橋本）



## 地域貢献委員会から

地域貢献委員会では 11 月に「ごみゼロ地域清掃活動」として公園清掃を行いました。感染症対策を考慮し、あおぞら・かりんそれぞれのグループに分かれての清掃となりましたが皆さん「〇さんも来てくれた！」と他グループの方を意識されながら清掃に取り組まれていました。

草むらの影やベンチの隙間…。普段散歩で利用させて頂いている公園ですが、よく見てみるとタバコやお菓子の袋が落ちている事が分かります。

「あった」「ここにも！」という声があちこちで上がり、とても小さなゴミも皆さん丁寧に回収して下さいました。皆さんの活躍であっという間にゴミの回収が終わり、予定になかった落ち葉の清掃も行っていました。両手いっぱい落ち葉を抱え何度も何度もゴミ袋に運んでくださる方。「ここにも落ち葉がある！」と周囲に声掛けをして協力しながら作業を進めて下さる方。一人ひとりが主役となって、「ごみゼロ地域清掃運動」に取り組んで頂きました。

参加して頂いた方々、ご協力ありがとうございました。



(記：加藤)

## 職員紹介



好きなこと：料理

9 月よりあおぞらグループに配属となりました非常勤支援員の「小林 美智子」と申します。ご利用者様と一緒に週 2 回、花畑あかしあ園で清掃作業をさせて頂いております。三大家事の中で掃除が最下位の私ですが、……。

ご利用者様と共に作業をする中、工程カードを確認し黙々と清掃されている姿に色々気づかせて頂いております。皆様とのご縁に感謝です。これからもどうぞ宜しくお願い致します。



## わくわくイベント

8 月 25 日（水）～31 日（火）に 1 階ホールにて、夏の夜のわくわく～光と音の記憶～というわくわくイベントが開催されました。

マットを使用して草むらに見立て、段ボールを使用して窓から入る光を遮り、暗闇の中でライトに付けられたたくさんのホタルの光を見て頂くイベントです。

虫の鳴き声が入った音楽を聴いたり、キラキラ光るホタル(ライト)や照明に照らされた月を見たり、オリンピックにちなんだピクトグラムの影絵も好評でした。



まだまだ外出ができない状況が続く中、利用者の方が少しでも笑顔になれるイベントが開催できた事を嬉しく思います。(冬のイベントについては次回の広報誌に掲載予定です)

(記：市川)



## あおぞらグループ

あおぞらでは、革の自主製品を作成しています。不思議な財布やパスケース、靴ベラ等を作成し、ハート&ハートや様々なイベントでも販売していましたが、コロナ過で軒並み中止になってしまいました。綾瀬あかしあ園や竹ノ塚センターでは引き続き販売をしています。

色々な種類の革製品はありますが、今回新商品の開発を利用者の方と共に考えています。これからの時期温かい飲み物が恋しくなると思いますが、手が熱くならないようにするカバー、コーヒースリーブなるものを考えています。

これは難しい工程ではないだろうか？という職員の心配をよそにボタンのような「はとめ」や、「かしめ」を利用者の方々は上手につけておられ、職員が逆に教えて頂く事もたくさんあります。作業の際は安全に気を付けて、これからも皆さんが楽しんで頂けるような作品作りをしていきたいと思っています。

(記：市川)



## かりんグループ

感染症対策に配慮しながら 9 月に「かりん夏祭り」を開催しました。

当日の給食は焼きそばにじゃがバター、チョコバナナといったお祭りメニューで夏の BGM を聞きながら一味違った給食を楽しみました。

食後は魚釣りや、的あてといったレクを行いました。皆さん手作りのオリジナルな魚をマット一面に散らばせて、合図と共に竿で吊り上げます。大物を狙って狙いを定めるのですがお目当ての魚が釣れなかったり、2 匹同時に吊り上げられたり皆さん大盛り上がりでした。

的あてでは、所定の位置からの的である海の生き物を狙ってボールを投げます。コントロール抜群で次から次へと的へボールを当てる方、なかなか的にボールが届かない方…個性豊かな投球が見られました。

レクの後には、皆さん楽しみにされていたかき氷を食べました。トッピングはお皿から溢れそうな程のフルーツです！ボリュームたっぷりなかき氷は皆さん満足して頂けたのではないのでしょうか？

まだまだ、感染症の対応には予断を許さない状況ですがそんな中でも皆さんが楽しめるような企画を考えていけたらと思っています。

(記：加藤)

